八木しだれ梅

わたしたちのマチの景況レポート No. 36

2023年10～12月期実績・2024年1～3月期見通し

今日も　楽しい　おつきあい

淡路信用金庫

調査概要

１．調査時期　　：2023 年 10～12 月期実績・2024 年 1～ 3 月期見通し

２．調査方法　　：当金庫の営業店職員による「聴取り」調査

３．調査企業数　：671 社

製　造　業	152 社	卸　売　業	98 社	小　売　業	115 社
サービス業	116 社	建　設　業	141 社	不 動 産 業	49 社

４．調査地区　　：当金庫事業地区（洲本市、淡路市、南あわじ市、明石市、神戸市、芦屋市、西宮市、尼崎市、加古郡稲美町、加古郡播磨町、加古川市、高砂市、三木市）

５．分析方法：Ｄ．Ｉ．（「良い」「増加」「上昇」の回答割合 －「悪い」「減少」「下降」の回答割合）
※不変部分を除き、「良い」「悪い」のどちらの力がどれだけ強いかを調べる方法

指標	内容	プラス	マイナス
業況	調査時点での回答企業の業況 「良い」－「悪い」	**良い**＞悪い	良い＜**悪い**
売上額	前期（四半期）と比較した売上 「増加」－「減少」	**増加**＞減少	増加＜**減少**
収益	前期（四半期）と比較した収益 「増加」－「減少」	**増加**＞減少	増加＜**減少**
販売価格	前期（四半期）と比較した販売価格 「上昇」－「下降」	**上昇**＞下降	上昇＜**下降**
仕入価格	前期（四半期）と比較した仕入価格 「上昇」－「下降」	**上昇**＞下降	上昇＜**下降**
人手過不足	調査回答時点での人手 「過剰」－「不足」	**過剰**＞不足	過剰＜**不足**
資金繰り	前期（四半期）と比較した資金繰り 「楽」－「苦」	**楽** ＞ 苦	楽 ＜ **苦**
設備投資企業割合	設備投資実施の有無		

例

人手不足▲50とは

人手	(1)過剰 (2)やや過剰 (3)適正 (4)やや不足 (5)不足

⬇ 回答数を集計し、回答割合を算出

	(1)過剰	(2)やや過剰	(3)適正	(4)やや不足	(5)不足	合計
回答数	35	35	210	280	140	700
回答割合	5.0%	5.0%	30.0%	40.0%	20.0%	100.0%

人手不足＝　10　－　60　＝ ▲50

【問合せ先】
淡路信用金庫　業務部
担当：玉田、樅木（もみのき）、坂田
TEL：0120-22-1020

業種別地区別天気図

業種＼地区	全事業地区（671先）			淡路地区（385先）			神明地区（286先）		
時期	2023年7～9月（前期）	2023年9～12月（今期）	2024年1～3月（見通し）	2023年7～9月（前期）	2023年9～12月（今期）	2024年1～3月（見通し）	2023年7～9月（前期）	2023年9～12月（今期）	2024年1～3月（見通し）
総合									
製造業									
卸売業									
小売業									
サービス業									
建設業									
不動産業									

好調← →低調

全業種

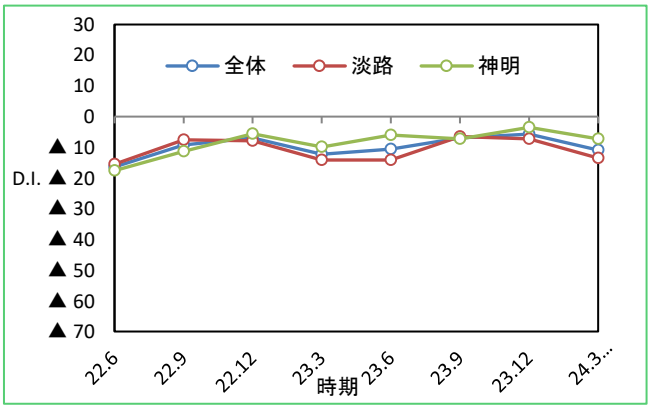
前期 今期 来期

今期（2023年10～12月期）の業況判断D.I.は▲5.7ポイントとなり、前期（2023年7～9月期）▲6.9ポイントに比べ1.2ポイント改善しているが、依然として不安定な状況に変わりない。

項目別では、売上額は0.3ポイント（前期5.4）と5.1ポイント減少、収益もマイナス幅が前期比3.8ポイント減少し▲6.6ポイントとなった。販売価格は22.7ポイント（前期27.1）と4.4ポイント下降、仕入価格は43.8ポイント（前期52.3）と8.5ポイント下降となっている。

人手過不足については▲28.4ポイント（前期▲25.8）とさらに2.6ポイント悪化、特にサービス業・建設業は▲40ポイント以上で深刻である。資金繰りについては▲6.9ポイント（前期▲3.9）と3.0ポイント悪化した。来期（2024年1～3月期）の業況判断D.I.については▲10.9ポイントと5.2ポイント悪化、他の項目の売上額・収益なども減少する見通しで、依然として不安定な状況である。

業況判断D.I.の推移（地区別）



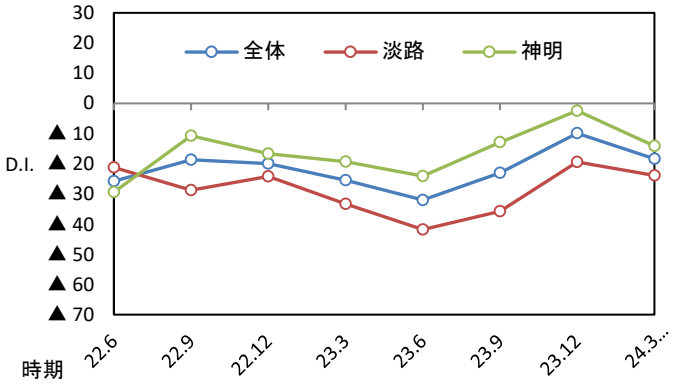
(D.I.)

	23年9月（前期）	23年12月（今期）	24年3月（見通し）
業況	-6.9	-5.7	-10.9
売上額（前期比）	5.4	0.3	-7.6
収益（前期比）	-2.8	-6.6	-10.3
販売価格（前期比）	27.1	22.7	12.8
仕入価格（前期比）	52.3	43.8	29.1
人手過不足（過剰－不足）	-25.8	-28.4	-28.3
資金繰り（楽－苦）	-3.9	-6.9	-7.5
設備投資実施企業割合（%）	15.6	14.3	11.1

製造業

今期の業況判断D.I.は▲9.9ポイント（前期▲23.0）で13.1ポイントと大幅な改善となる。地区別の業況は、淡路地区▲19.4ポイント(前期▲35.8)と16.4ポイントの改善、神明地区▲2.4ポイント(前期▲12.9)と10.5ポイントの改善となった。来期については業況が▲18.4ポイント、売上額、収益についても同様に再び減少する見通しとなっている。

業況判断D.I.の推移（地区別）



お客様の声

前回調査時より収益は減少、原材料価格の高止まりが影響、課題としては売上の停滞・減少・利幅の縮小、人件費の増加となっている。今後は機械化の推進、パート化を図り経費節減に取り組んでいく。　（淡路）

前回調査時より売上額、受注件数、収益ともにやや減少しているが、通期で見れば例年の水準以上で推移。今後の課題として人手不足、従業員の高齢化、外注先の確保等掲げている。　（神明）

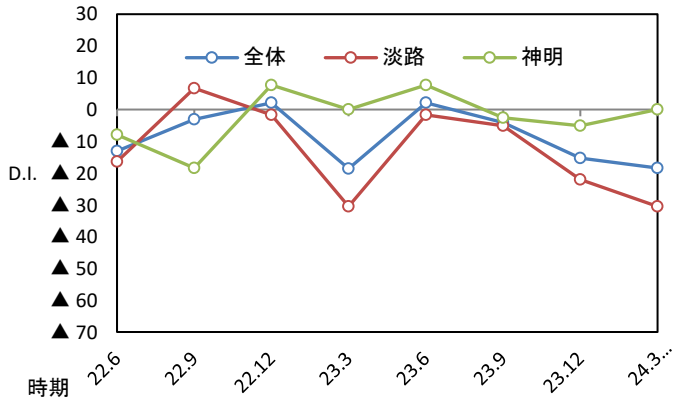
(D.I.)

	23年9月（前期）	23年12月（今期）	24年3月（見通し）
業況	-23.0	-9.9	-18.4
売上額(前期比)	-2.6	5.9	-17.1
収益(前期比)	-11.8	-3.9	-11.2
販売価格(前期比)	22.4	28.3	12.5
仕入価格(前期比)	53.3	52.6	32.2
人手過不足(過剰－不足)	-20.4	-23.0	-24.3
資金繰り(楽－苦)	-12.5	-9.9	-13.8
設備投資実施企業割合(%)	17.9	13.2	9.9

卸売業

今期の業況判断D.I.は▲15.3ポイント（前期▲4.1）と11.2ポイントの悪化となった。地区別の業況は、淡路地区▲22.0ポイント(前期▲5.1)と16.9ポイント悪化、神明地区は▲5.1ポイント(前期▲2.6)と2.5ポイントの悪化となった。来期の業況は▲18.4ポイントと3.1ポイントの悪化、売上額▲11.2ポイント収益は▲19.4ポイントと減少する見通しとなっている。

業況判断D.I.の推移（地区別）



お客様の声

今期10月～12月は市場価格が安値で推移したことで売上・収益は減少。当社の重点経営施策は人材確保であり募集をおこなうが人材確保が出来ていない状況が続いている。　（淡路）

昨今、人材不足・職場環境改善意識の高まりにより機械化を検討する企業が増加しており当社の受注は増加傾向にある。業況については、為替相場、複合的要因によるため先行きは不透明である。　（神明）

(D.I.)

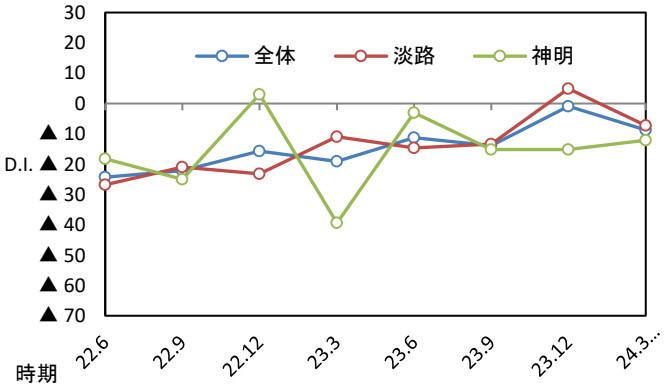
	23年9月（前期）	23年12月（今期）	24年3月（見通し）
業況	-4.1	-15.3	-18.4
売上額(前期比)	7.1	1.0	-11.2
収益(前期比)	-3.1	-10.2	-19.4
販売価格(前期比)	34.7	34.7	14.3
仕入価格(前期比)	49.0	38.8	24.5
人手過不足(過剰－不足)	-14.3	-20.4	-22.4
資金繰り(楽－苦)	1.0	-5.1	-6.1
設備投資実施企業割合(%)	12.2	9.2	10.2

小売業

前期 今期 来期

今期の業況判断D.I.は▲0.9ポイント(前期▲13.9)と13.0ポイントの改善となった。地区別では、淡路地区4.9ポイント(前期▲13.4)と18.3ポイントと大幅な改善、神明地区では▲15.2(前期▲15.2)と横ばいとなる。来期の業況は7.8ポイント悪化の▲8.7ポイントを見込んでいる。売上額は▲1.7ポイントと11.3ポイント減少の見通し、収益についても▲9.6ポイントと13.9ポイントの減少見込みとなっている。仕入価格の上昇等は一段落しているものの売上額が増加しない状況である。

業況判断D.I.の推移（地区別）



お客様の声

地域プレミアム商品券の効果により売上は増加基調。またネット販売では大手には敵わない為、ネット購入の苦手な年齢層をターゲットに品揃えの充実を図り差別化に取り組んでいる。（淡路）

昨今の物価上昇の影響で顧客単価が上昇。当社は特に低価格商品に魅力を感じる顧客が増加しており増収傾向にある。一方で最低賃金の上昇もあり人件費等販管費も増加。人材採用においてパートの人員を募集している。（神明）

（D.I.）

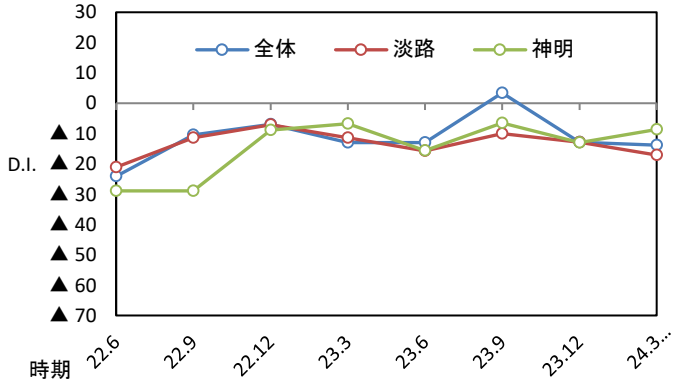
	23年9月（前期）	23年12月（今期）	24年3月（見通し）
業況	-13.9	-0.9	-8.7
売上額(前期比)	6.1	9.6	-1.7
収益(前期比)	-8.7	4.3	-9.6
販売価格(前期比)	40.9	27.8	13.9
仕入価格(前期比)	58.3	40.9	23.5
人手過不足(過剰－不足)	-18.3	-18.4	-15.7
資金繰り(楽－苦)	-8.7	-5.2	-6.1
設備投資実施企業割合(%)	11.3	9.6	9.6

サービス業

前期 今期 来期

今期の業況判断D.I.は▲12.9ポイント(前期3.4)と▲16.3ポイントの大幅な悪化となった。地区別の業況は、淡路地区▲12.9ポイント(前期10.0)、神明地区は▲13.0ポイント(前期▲6.5)と共に大きく悪化している。来期の業況は▲13.8ポイントと0.9ポイント悪化する見通しで、特に人材不足は深刻である。

業況判断D.I.の推移（地区別）



お客様の声

客室の稼働率は良好を維持している。一部価格転嫁できていない部門についても都度改善を図っている。一番の課題は人材確保であり、各方面へ案内を行っているが新卒の採用などには至っていない。（淡路）

前年対比売上・収益ともにやや減少。原因として受注する外注委託割合が増加、且つ人件費、保険料等の増加など経費全体の増加が収益を圧迫している。収益確保に向け人員増員による内製化及び経費削減に努めて行く方針。（神明）

（D.I.）

	23年9月（前期）	23年12月（今期）	24年3月（見通し）
業況	3.4	-12.9	-13.8
売上額(前期比)	12.1	-12.1	-1.7
収益(前期比)	5.2	-14.7	-7.8
販売価格(前期比)	22.4	11.2	10.3
仕入価格(前期比)	50.0	38.8	32.8
人手過不足(過剰－不足)	-32.8	-42.2	-40.5
資金繰り(楽－苦)	-5.2	-16.4	-14.7
設備投資実施企業割合(%)	18.1	22.4	14.7

建設業

前期　今期　来期

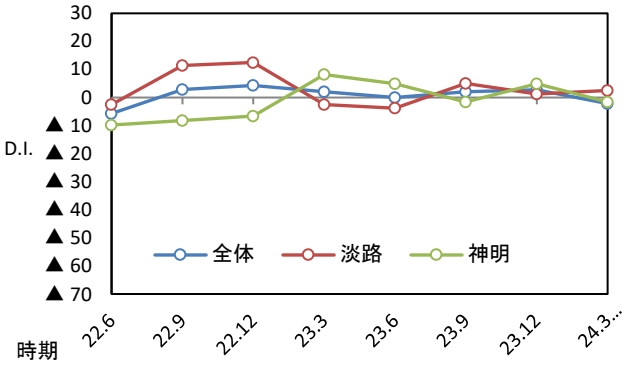
今期の業況判断D.I.は2.8ポイント(前期2.1)と0.7ポイントの改善となった。地区別の業況は、淡路地区は1.3ポイント（前期▲5.0）と6.3ポイント改善、神明地区は4.9ポイント（前期▲1.6）と6.5ポイント改善となった。来期の業況については▲2.1ポイントと悪化の見通しである。課題である人手過不足については▲44.0ポイント(前期▲44.0)と依然としての人手不足状態が今後も続く見通しである。

お客様の声

住宅価格の高止まりを背景に消費者マインドは長期的な低下傾向にあり、契約件数は伸び悩んでいる。建築資材の仕入価格は緩やかに下降、全般的に販管費は増加し効率的なコスト管理を意識している。　（淡路）

依然として資材価格の高騰等により利幅は低下しているが、営業努力により受注状況は増加している。今後の問題としては、人手不足に悩んでいる。　（神明）

業況判断D.I.の推移（地区別）



（D.I.）

	23年9月（前期）	23年12月（今期）	24年3月（見通し）
業況	2.1	2.8	-2.1
売上額(前期比)	5.7	-3.5	-5.7
収益(前期比)	1.4	-12.1	-9.9
販売価格(前期比)	20.6	13.5	12.1
仕入価格(前期比)	57.4	49.6	33.3
人手過不足(過剰－不足)	-44.0	-44.0	-44.0
資金繰り(楽－苦)	3.5	-2.1	-0.7
設備投資実施企業割合(%)	17.0	16.3	11.3

不動産業

前期　今期　来期

今期の業況判断D.I.は8.2ポイント(前期4.1)と4.1ポイントの改善となった。地区別の業況は、淡路地区は7.4ポイント（前期7.4）と横ばい、神明地区は9.1ポイント(前期0.0)と改善となる。

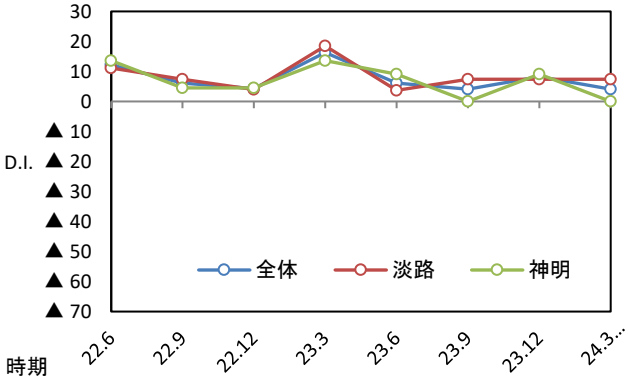
来期の業況は、わずかに悪化する見通しとなっている。

お客様の声

地域の不動産市場が活況で販売価格は上昇しているが仕入コストも高騰しており利幅に変わりない。反面、市場の冷え込みも見据えており商品物件の選定は慎重に行っている。　（淡路）

阪神間の住宅ニーズは旺盛であるが今夏は業界全体として住宅販売が低調に推移した為、仕入を抑制、秋以降は販売状況も回復基調で一時的な商品在庫不足となっていた。引続き情報収集に努めて行動、当社は建築部門を有し優位性により収益確保している。（神明）

業況判断.I.の推移（地区別）

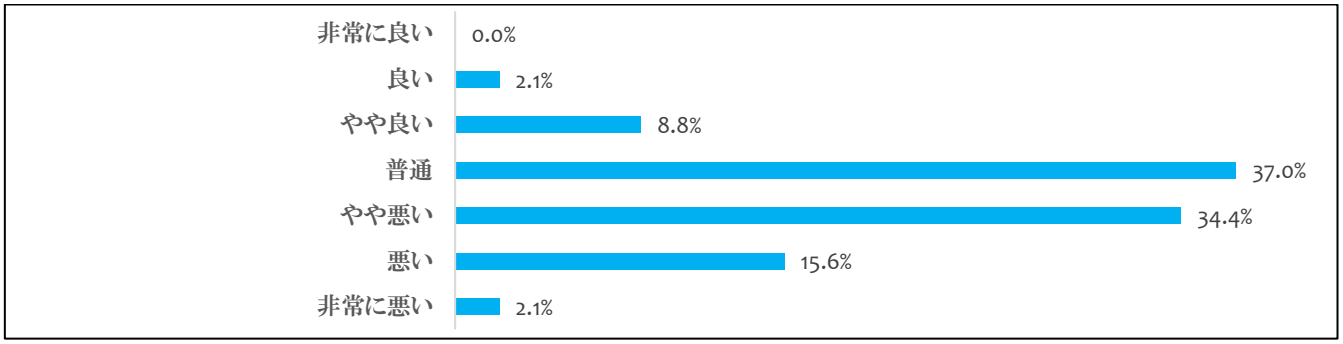


（D.I.）

	23年9月（前期）	23年12月（今期）	24年3月（見通し）
業況	4.1	8.2	4.1
売上額(前期比)	8.2	0.0	-4.1
収益(前期比)	8.2	2.0	2.0
販売価格(前期比)	24.5	22.4	16.3
仕入価格(前期比)	32.7	28.6	20.4
人手過不足(過剰－不足)	-14.3	-6.1	-8.2
資金繰り(楽－苦)	6.1	4.1	4.1

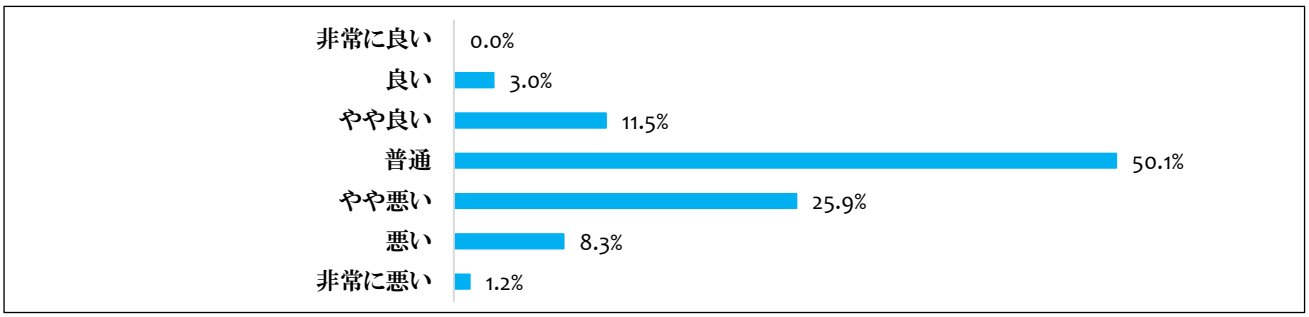
問 1，貴社では、2024 年の日本の景気をどのように見通していますか。次の中から 1 つ選んでお答えください。

2024 年の景気見通しについては、「良い」（「非常に良い」「良い」「やや良い」の合計）と回答する割合が 10.9%、「悪い」（「やや悪い」「悪い」「非常に悪い」の合計）が 52.1%となった。この結果「良い－悪い」は△41.2%と 1 年前の調査（△63.5%）と比べて 22.3 ﾎﾟｲﾝﾄの改善となっている。



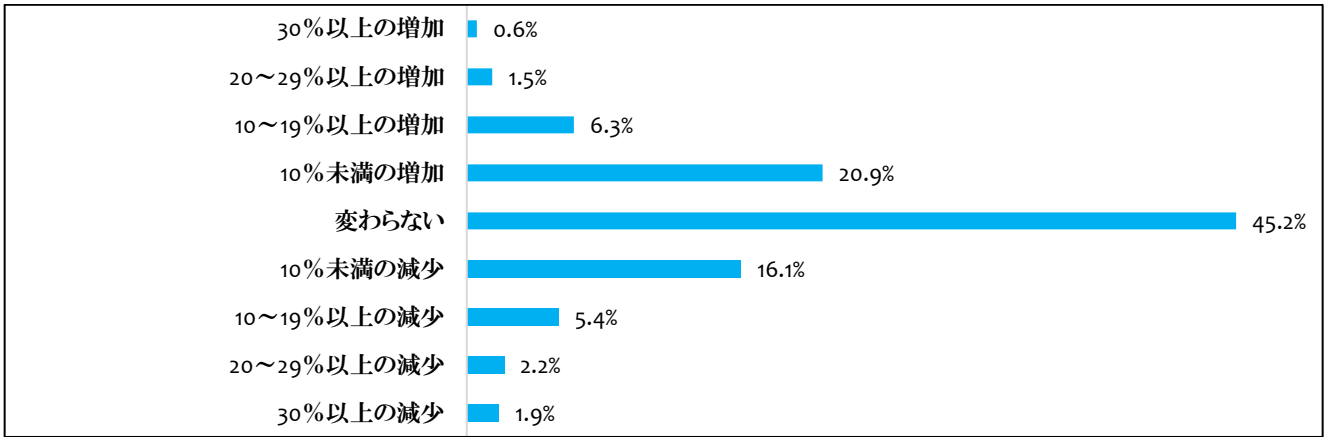
問 2，貴社では、2024 年の自社の業況(景気)をどのように見通していますか。
次の中から 1 つ選んでお答えください。

2024 年の自社の業況見通しについては、「良い」（「非常に良い」「良い」「やや良い」の合計）と回答する割合が 14.5%、「悪い」（「やや悪い」「悪い」「非常に悪い」の合計）が 35.4%となった。この結果「良い－悪い」は△20.9%と 1 年前の調査（△30.2%）と比べて 9.3 ﾎﾟｲﾝﾄの改善となっている。



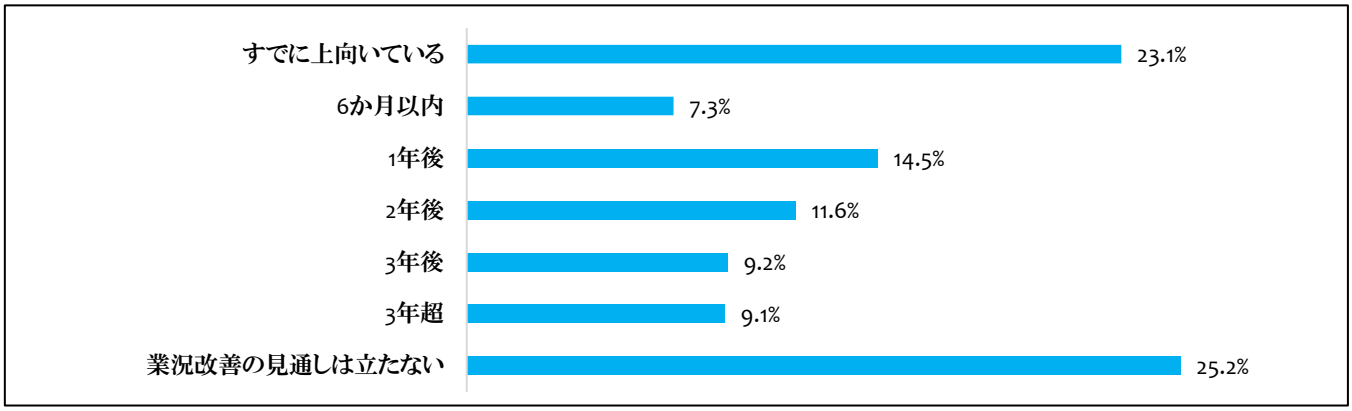
問 3．2024 年において貴社の売上額の伸び率は、2023 年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか。次の中から 1 つ選んでお答えください。

2023 年対比で 2024 年の売上額の伸び率については、「変わらない」と回答したのが 45.2%と最も多く、前年比「増加」項目の合計割合が 29.3%を占めた。一方で前年比「減少」項目の合計割合は 25.6%となっている。地区別についても淡路地区・神明地区でそれほど差はなく「変わらない」の項目が一番多くなっている。業種別についても全業種が「変わらない」の回答が最も多くなっている。



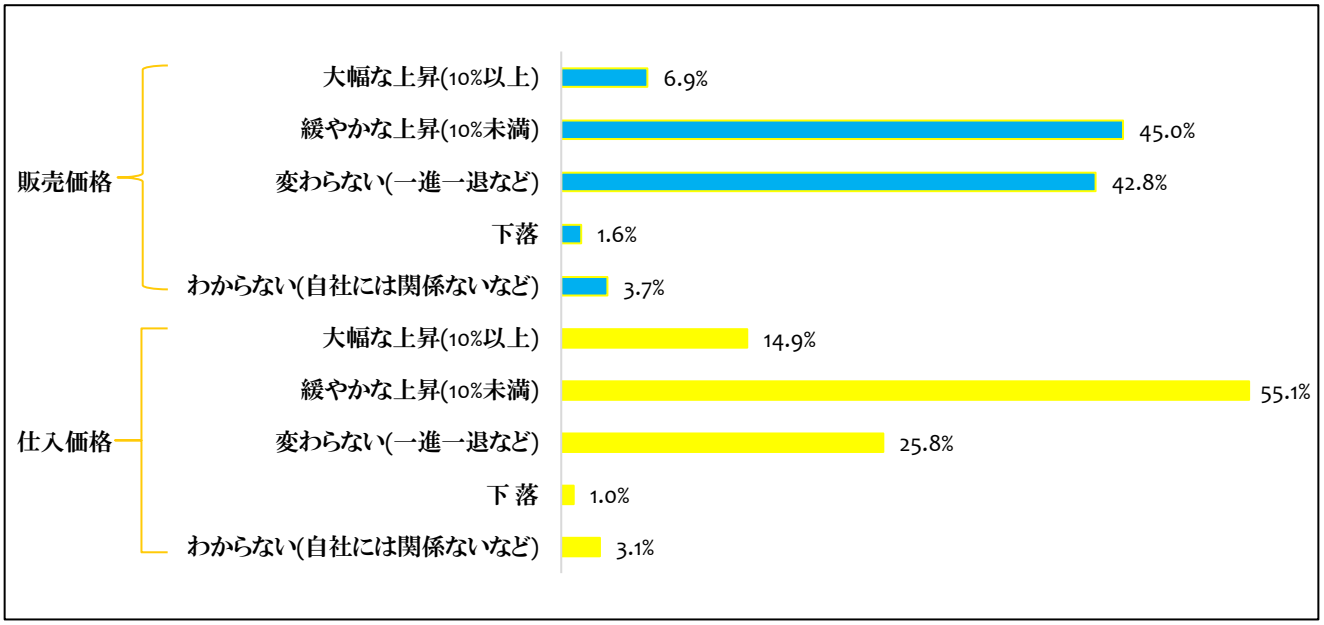
問４．貴社では、自社の業況が上向く転換点をいつ頃になると見通していますか。
次の中から 1 つ選んでお答えください。

自社の業況が上向く転換点については、「業況改善の見通しは立たない」が 25.2%と最も多かった。次に多かったのが「すでに上向いている」で 23.1%。地区別では、淡路地区は「業況改善の見通しは立たない」の項目が最も多く 30.4%、次いで「すでに上向いている」の項目が 23.6%となった。神明地区では「すでに上向いている」の項目が 22.4%と最も多く、次いで「業況改善の見通しは立たない」の項目が 18.2%であった。業種別では、製造業・卸売業・小売業・建設業が「経営改善の見通しは立たない」の割合が最も多くなっている。



問５，近年、販売価格や仕入価格に上昇の傾向がみられますが、2024 年を展望したとき、貴社では価格面の動向をどのように見通していますか。販売価格については 1～5 から、仕入価格については 6～0 から、それぞれもっとも当てはまるものを 1 つずつ選んでお答えください。

2024 年の事業展望した時の価格面について、販売価格は「緩やかな上昇」が最も多く 45.0%、「変わらない」42.8%となっている。仕入価格は「緩やかな上昇」が最も多く 55.1%、「変わらない」25.8%となっている。 地区別についても淡路地区・神明地区でそれほど差はない。業種別販売価格では卸売業、小売業の上昇幅が大きく、仕入価格では不動産業を除く全業種で上昇幅が大きくなっている。



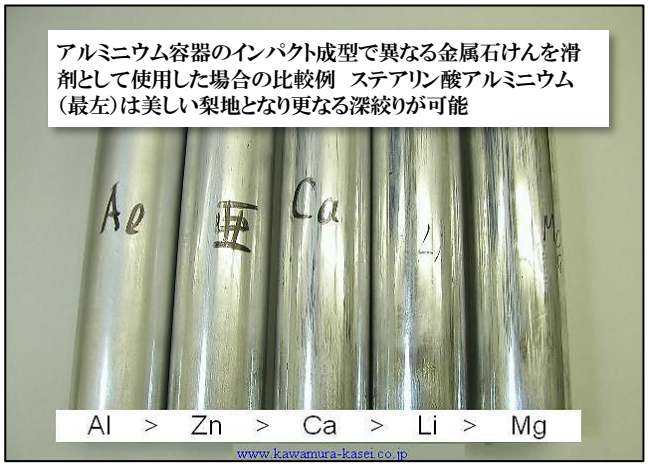
わたしたちのマチの元気企業 ㊳

川村化成工業株式会社

弊社は「金属石けん」と呼ばれる工業用化学薬品を主に生産しています。中でも主力製品である「ステアリン酸アルミニウム」は、国内需要の過半数のシェアを占めていると自負しております。

一般には馴染みの少ない製品ですが、その用途は多彩で、セメント防水剤，プラスチックゲル化剤，グリース粘度調節剤，塗料沈降防止剤，製紙気泡防止剤，金属塑性加工滑剤，インキ，皮革，繊維，化粧品等々、多くの化成品の加工工程において、機能性の付与と作業性の向上に貢献しています。

1935 年の創業当初から原材料の厳選、万全の工場管理による製品の均一性、これに加えて技術の優良性を確保してきました。さらには、大手メーカーがこぞって需要の大きな品種に注力していく中、小企業らしくニッチな分野に特化することで差別化も図っており、今後ともお客様目線でのご提案に努めてまいります。



商号	川村化成工業株式会社　(KAWAMURA KASEI INDUSTRY CO., LTD.)
	資本金 5300 万円　代表取締役　澁谷　卓　以下全 12 名
本社・工場	〒674-0093　兵庫県明石市二見町南二見 1-16
	TEL.　078-941-5177　FAX.　078-941-5178
事業内容	ステアリン酸アルミニウムを初め各種金属石鹸の製造販売
	ならびに各種粉体加工の受託製造販売
お問合せは	https://www.kawamura-kasei.co.jp　Web 内フォームよりお願いします

令和５年度 事業継続力強化計画 認定 経済産業省

Cafe&Restaurant

AhaAina

店内はハワイアンテイストのカフェで店内に 17 席、屋外テラスに 10 席ご用意しております。
フラダンスを踊れる舞台がありフラを見ながらお食事を楽しんでいただけるタイミングもご用意する予定です。また島内外のフラダンス愛好家の方もぜひ踊ってみませんか？更に演奏会などにもご利用ください。

メニューは定番のガーリックシュリンプやロコモコ、アヒポキなど和風テイストを取り入れながら食べやすい様にアレンジしてご用意しております。
またパンケーキやマラサダドーナツスイーツのメニューもございます。パンケーキには米粉を使用しておりふわふわの食感でおすすめです。おやつの時間にもぜひお立ち寄り下さい。

カフェと併設してラ・メールという宿泊施設も併設しております。
3 タイプあるお部屋の中から好みの 1 室にお泊り頂き、庭に面した貸切露天風呂で旅の疲れを癒してください。小さな宿ですがその分、心の行き届いたおもてなしを心がけております。

SEA SIDE PENTION & RESTAURANT

La Mer ラ・メール SINCE 1989

〒656-1341
兵庫県洲本市五色町都志角川 1353-11
TEL 0799-33-0036　fax 0799-33-1132
ラ・メール　チェックイン　15:30（最終チェックイン 18:30）
チェツクアウト 10:00

AhaAina (Café&Restaurnt)
@CAFE.AHAAINA

営業時間
Open　11:00～17:00 (L.O 16:30)
Lunch Time　11:00～14:00
Dinner 予約制　18:00～21:00 (L.O 20:30)
※Dinner はお電話でご予約お願いいたします。